

平成29年度在宅医療・介護連携推進事業 第1回推進委員連絡協議会(H.29年7月6日)



＜推移委員長 花牟禮先生のあいさつ＞
昨年度から事業を開始し少しずつ色々な事が見えてきた。本協議会は事業推進の上で、中核的機能を果たしている。積極的な意見や提案を頂きたい。とのあいさつで始まりました



【協議内容】

- 1) 事務局より今年度の活動計画についての説明
- 2) 「いちき串木野市介護保険の現状について」
いちき串木野市健康増進課 課長 若松 友子
- 3) 講演: 「在宅医療・介護連携推進事業について」
鹿児島地域振興局保健福祉環境部
健康企画課 課長 永山 広子氏



今回は、鹿児島地域振興局健康企画課の永山課長による講演をお願いしました。地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療・介護連携推進の重要性や、国や県の取組み・方向を交えて、いちき串木野市の今後の進め方や方向性についての提案など含めて、具体的なお話しをしていただきました。

会場からの意見として訪問歯科や在宅での口腔ケアについて歯科医師等の積極的な本事業への参加も促して行きたい。また在宅支援の要となるケアマネージャーや訪問看護師による歯科医師との連携の必要性や情報共有をどのよう図っていけたらいいかなど、今後の事業推進に向けて積極的な意見や提案が出されました。また歯科医師の立場から訪問歯科診療の需要は感じているが現状として歯科医師や歯科衛生士のマンパワーが足りていない面がある。との課題も出されました。

＜閉会のあいさつ 推進副委員長 牧野先生＞

本日の講演で本事業の総論を教授していただき、より理解が深まった。昨年度より推進チームを中心に会議を重ね顔の見える連携、関係性は強くなったと感じている更なる連携を深めて地域住民が安心して生活できる地域づくりを進めて行きましょう。と述べていただき、次回チーム会へ繋がる有意義な会議となりました。